



## 新年のご挨拶

松江赤十字病院 院長 大居 慎 治

新年あけましておめでとうございます。

平成 31 年は暖冬でしたが、インフルエンザの流行には当院も大変な影響を受けました。今年もインフルエンザを封じ込めるべく、感染対策チームがいろいろと策を練っております。まずは職員に感染予防策を徹底しました。外来の患者さんやご訪問の方にもマスクの着用、手指消毒、不要不急のご訪問を避けていただくなどのお願いをしております。ご迷惑をおかけしますが患者さんの生命に関わることであり、ご協力をお願いいたします。

さて、今回は病院職員の働き方改革への取り組みを紹介します。3大ブラック業種とは「医療介護、教員、運送業」とよく言われます。国の方針で働き方改革が進んでおりますが、病院では患者さんや地域住民の方々にご迷惑をおかけすることはできません。このため医師については5年間の猶予を設け、2024年3月までに達成することになりました。当院では勤務の実態をより正確に把握するために昨年2月より新たな就業管理システム（タイムカードの電子版）を導入いたしました。特に医師については長時間労働が常態化しており、働き方改革に対する意識を高めてもらうべく説明をしました。働き方改革の対策としてAIの活用やタスクシェア、タスクシフトがよく話題になります。薬剤師は病棟での薬剤指導や抗生物質に代表される薬の適正使用に関与することが期待されています。看護師は診療看護師（NP）や特定行為の可能な看護師の活躍が期待されます。外来で医師の横にいる医師事務クラーク（医師事務作業補助者）はお馴染みになりました。記録や書類作成、データ整理などに活躍してもらっています。病棟には看護師の事務的な業務を補助する看護クラークも配置しました。患者さんやご家族の面談はできるだけ時間内をお願いをしております。ご協力をお願いいたします。

今年も皆様にとって良い年であるように祈念いたします。





Clinical Department  
診療科紹介  
精神神経科

当科は昭和35年の開設以来、入院機能を持つ総合病院精神科として半世紀の歴史を刻み、地域精神医療の発展に寄与してきました。

「21世紀は心の時代」と言われるように、自殺増加に関連したうつ病対策や高齢化社会に伴う認知症問題、がん医療や周産期医療におけるメンタルサポートなど、私たち総合病院精神科への期待がますます大きくなっていきます。

当科では診療所からの統合失調症・うつ病・ストレス性障害・認知症・アルコール依存症など多彩な精神障害に対する専門的診断や入院治療の受け入れ、他病院からの身体合併症入院治療の受け入れ、

救急入院の受け入れなど、「地域医療機関との連携」を大切にするとともに、院内においても「緩和ケアチーム」「リエゾンチーム」「認知症ケアチーム」活動を中心に他科と連携しながら「質の高い全人的医療」が提供できるよう心がけています。

皆様方のご支援により平成24年6月から新病棟に移転しました。南側に面し大橋川・穴道湖を眺望できる清潔で明るい病棟となり、個室も5床用意しました。自由で開放的な療養環境（開放病棟）であり、気軽に声をかけていただけるようナースステーションもオープンカウンタースタッフとしました。また、少しでも自然を感じ心穏やかでいただけるようデイルームにはテラスを併設し、紅白のハナミズキとともに四季折々の草花を觀賞していただくことができます。

患者さんの回復する力を大切に、ご家族と協力しながら、患者・家族・医療者が三位一体となった入院治療を目指してい

ます。

また、当院は研修指定病院であり、将来の医療を担う医学生・初期臨床研修医が当科でも数多く実習・研修していますが、学ぶ人の主体性を尊重し、「心で感じ、自ら考え、行動し、共に自己成長できる」実習・研修を心がけています。

これからも「患者・家族の心に寄り添う医療」の伝統を守り、総合病院有床精神科として地域精神医療の中核的役割を果たせるよう、職員一同力を合わせ頑張っていきたいと思っております。



今年もキャンドルサービスの時期がやって参りました。キャンドルサービスは平成18年に閉校した看護学校の看護学生による伝統あるイベントだったもの。2列に並び、火を灯したキャンドルを手に持ち賛美歌を歌いながら、病棟を練り歩きます。照明を落とした暗い中、キャンドルの明かりが浮かび、賛美歌を歌いながら進む姿は、とても神秘的でした。

看護学校の閉校後、当院職員が引き継ぎ早10数年。2班に別れ、12階から11階、10階、9階、8階の病棟を回るA班。7階、6階、5階、1CU、ERを回るB班の2つに別れスタートです。7階以下のB班には、サンタクロースに扮する院長も同行。どこの病棟も院長を見つめるや「院長先生〜!!」「サンタさんだ!!」と大人気です。それに応え手を振り、声をかけて歩く院長サンタさん。院長の人柄、人気が伺える一場面でした。

5階の東西の病棟を回り渡り廊下に差しかかると、南病棟から照明を落とすなかにならんで待つ患者さんの姿がうつすら見えます。看護師長もドアを開けて待っています。患者さんが拍手で出迎えてくれ、こんなに歓迎されることは他にないであろうと感動しました。

こんな素人の歌ですが、私たちが通ると手を振る患者さん、一緒に口ずさむ患者さん、拜んでいる患者さん、拍手で迎えてくれた患者さん、その一人ひとりの姿が歌っている私たちの心を暖かくしてくれました。



Clinical Department  
診療科紹介  
**皮膚科**

皮膚科は昭和44年に開設され、平成18年まで常勤医が診療に当たっていました。平成18年より10年間、非常勤医師が外来診療を中心に診療に当たってきました。平成28年度より再び常勤医が診療することになり、入院体制も整いました。常勤医以外に非常勤医師も定期的に診察に従事しています。どの医師も皮膚科専門医を有しています。

皮膚科は、湿疹・虫刺症・蕁麻疹といった誰もがかり得る皮膚疾患を扱っており、また乳児から高齢者まで幅広い年齢層を診察しています。また薬疹、膠原病、血行障害、糖尿病や肝腎疾患に伴う皮膚症状など、内科疾患と関連する皮膚疾患も扱っています。

連する皮膚疾患も扱っています。高齢化を反映し皮膚癌も増えており、早期診断早期治療に努めています。皮膚癌は湿疹やたむしと酷似していることもあり、誤って治療が継続されていることもあります。そのため皮膚科に受診されることをお勧めします。皮膚科特有の貼付試験（金属や化粧品など）や原因抗原を検出するための皮膚反応試験、皮膚組織検査、皮膚腫瘍摘出術も積極的にを行っています。

近年は、既存の治療に抵抗性のアトピー性皮膚炎や尋常性乾癬・関節性乾癬に対し、早期から積極的に生物学的製剤を使用しています。年々多くの薬剤が登場し、選択肢の幅が広がっています。治療効果はもろること、患者さんのライフスタイルに合わせて選択することが可能です。同様に、治療抵抗性の蕁麻疹には抗体製剤の使用が可能です。当科はこれらの薬剤が使用可能な施設ですので、ご希望の際はお尋ねください。ただし高額な薬剤のため、患者さんの状況に応じ相談しながら治療開始の決定を行っていきます。

難治並びに悪性度の高い疾患の方、診断や治療が難しいと判断された方には、さらに質が高くかつ先進的な医療を提供するため鳥取大学皮膚科への紹介受診をお願い



しています。また島根大学皮膚科は、蕁麻疹をはじめとする皮膚アレルギー疾患について高い専門性を有しており、こちらも必要のある方は紹介受診をお願いしています。このように高度先進医療を提供する大学病院とも密に連携し、診療に当たっております。紹介に際しては、予約を行い円滑に診療を受けてもらえるよう体制を整えています。大学病院受診後、症状が落ち着けば当科で治療継続をさせていただきます。

当院では形成外科も標榜しています。形成外科も皮膚疾患を扱い、皮膚科との区分けが難しいこともあります。熱傷、褥瘡、巻き爪、母斑などは形成外科での治療になることがありますので、ご連絡で相談のうえ受診をしてください。

初診の方は、開業医の先生からの紹介受診を原則としています。が、どなたでも受診することが可能ですので、お気軽にご相談ください。



Hello Doctors

11~1月採用医師紹介



産婦人科

**澁川 昇平**

出身地である松江に18年ぶりに帰って参りました。松江の産婦人科医療に貢献できるように一生懸命頑張ります。



麻酔科

**稲場 聡**

患者さんが元気に退院できるように微力ながらお手伝いさせていただきます。よろしく願っています。



# 患者満足度アンケート結果報告

調査期間

令和元年10月28日～11月1日

調査対象

外来患者751名／入院患者211名



入院・外来ともに、「患者さんの話を聞いている」ことについて評価をいただきました。

外来の評価では、「椅子が少ない」「車椅子スペースが狭い」「待ち時間が長い」とのご意見をいただいております。入院の評価では、「病棟スタッフに良くしていただいた」「安心して治療が受けられた」というご意見もある中、「相部屋でゆっくり眠れなかった」「食事に変化をつけてほしい」などのご意見をいただいております。

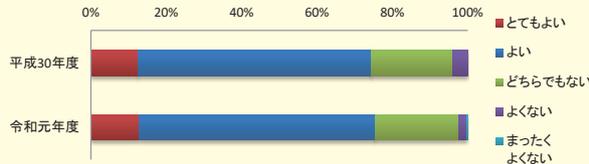
ご指摘いただいた内容を活かし、みなさんからのご期待に沿えるよう、より良い医療サービスの向上に繋げてまいります。

当院への満足度を5点満点で評価していただいた結果

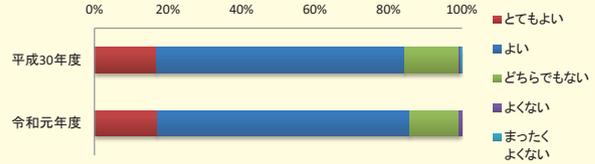
	評価が高かった項目	評価が低かった項目
外来	医師はあなたの話を聞いてくれましたか <b>4.5点</b>	待合室の環境はいかがでしたか <b>3.9点</b>
入院	医師はあなたの話を聞いてくれましたか <b>4.6点</b>	食事の献立はいかがですか <b>3.6点</b>

外来

## 待合室の環境はいかがでしたか

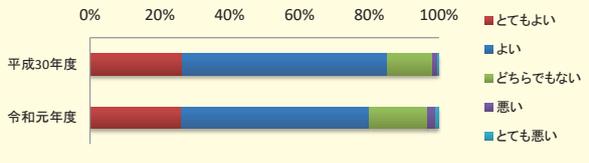


## 診察室の環境はいかがでしたか

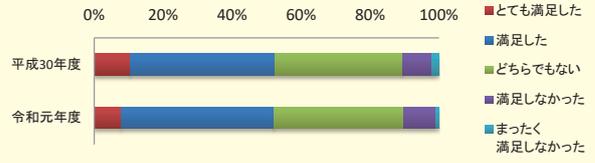


入院

## 病室の居心地はいかがですか

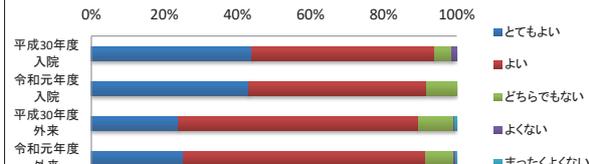


## 食事の献立はいかがですか

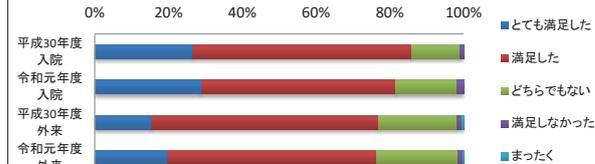


外来・入院共通

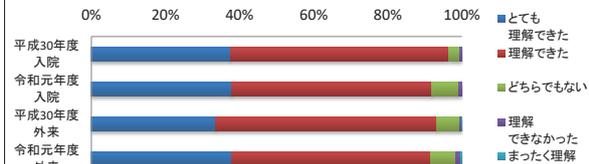
## 職員の言葉づかいはいかがでしたか



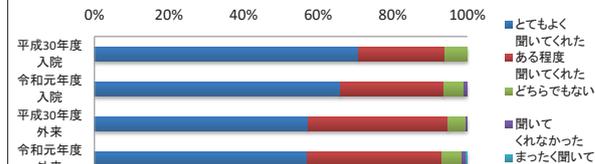
## あなたにとって職員のプライバシーの配慮はいかがでしたか



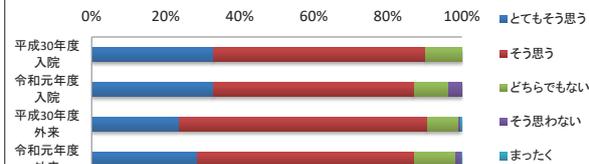
## 医師があなたに対して行った説明はいかがでしたか



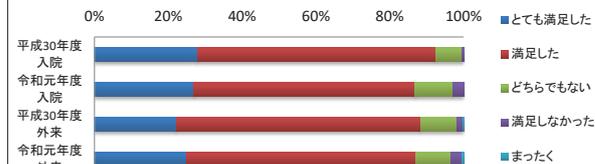
## 医師はあなたの話を聞いてくれましたか



## もう一度入院・受診されるなら当院を選ばれますか



## 全体としてあなたは松江赤十字病院に満足していますか



■病院理念……わたしたちは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、一貫した医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

## 松江赤十字病院『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医・医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力